

令和 5 年 6 月 13 日現在

機関番号：13901

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2019～2022

課題番号：19K00368

研究課題名(和文) 唐代仏教霊験譚の研究

研究課題名(英文) The study of miracles of Buddhism in the Tang Dynasty

研究代表者

藤井 誠子(佐野誠子)(FUJII, Seiko)

名古屋大学・人文学研究科・准教授

研究者番号：80359827

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,400,000円

研究成果の概要(和文)：唐代の仏教霊験譚について、『続高僧伝』『法苑珠林』『金剛般若経集験記』を中心にその仏経霊験(あるいは感通と呼ぶべきか)の意味を考え、六朝とは変質し、多様化していることを明らかにした。その上で、『続高僧伝』の著者である道宣の感通にかんする意識、『法苑珠林』の著者道世の編纂の実際から読み取れる、客観的な歴史を記述しようとする意識、『金剛般若経集験記』の著者である孟献忠の情報圏と、他テキストや歴史記録と比較することによって、そこにしるされた内容の虚実が明らかとなった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

唐代初唐から盛唐にかけての霊験の意味を一定程度明らかにした。これらの内容は、日本文化にも大きな影響を与えており、東アジアの仏教文化全般を考察することにも資する。

研究成果の概要(英文)：This study considered the meaning of the spiritual experiences (or should we call them "spiritual experience") of Buddhist spiritual tales of the Tang dynasty, focusing on "Sequel to the Biography of the Eminent Monks", "A Forest of Pearls from the dharma garden", and "A Record of Collected Proofs of the Efficacy of the Diamond Sutra". We revealed that they were altered and diversified from the ones in the six dynasties. In addition, by comparing Daoxuan, the author of "Sequel to the Biography of Eminent Monks," with his awareness of the importance of spiritual experience, Daoshi's awareness of the need to describe history objectively, which can be seen in the actual compilation of "A Forest of Pearls from the dharma garden." Meng Xianzhong, the author of "A Record of Collected Proofs of the Efficacy of the Diamond Sutra," with other texts and historical records, it became clear that the contents were which was the true and which was false.

研究分野：中国古典文学

キーワード：法苑珠林 続高僧伝 金剛般若経集験記 仏経霊験 感通

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

申請者佐野誠子は、唐代の仏教志怪に関心を持ち、関連したことを研究している研究者に声をかけて本科研費のグループを組織した。同じ中国文学でも偽経を研究する福田素子には、偽経に関する知識を、唐代を中心とする禅思想を研究する齋藤智寛は、『続高僧伝』の研究を通じて超常的なことにも関心を持つようになっていたため、思想的方面の知識を、また、日本史を専門としながら、道世編の偽経類書『法苑珠林』に高い関心を持ち、訳注稿を発表していた北條勝貴には、『法苑珠林』のテキストと思想についてや、人類学まで視野にいれた分析力を期待したものであった。

分担者メンバーの三名は、申請者とは繋がりがあがるが、相互の横の繋がりはない中で、申請者が研究の近さを見いだして近づけたともいうことができる。

まず、当初に「靈驗」の語で申請をしたが、その語で適切だったのか、色々な偽経の超常現象にまつわる語との関連などを分担研究者から問いただされ、改めて、「靈驗」およびそれ以外の内容についての精査を開始した。

また、それとは別に申請者は、『金剛般若経集験記』や『法苑珠林』についてのテキスト研究をはじめた。『法苑珠林』は北條の担当であったが、北條とは違う形で研究成果を発表する運びとなった。

2. 研究の目的

本研究は、靈驗の意味を明らかにすると共に、テキスト毎、そしてテキスト相互の関係をより明確にし、7-8世紀中国において仏教靈驗譚が盛んに書かれた背景を探ることであり、唐代の靈驗譚全体の歴史を描くことを最終的な目的としていた。

3. 研究の方法

年に一度ほど、代表者と分担者とが全員集まって、クローズドな研究会を行うことで、それぞれの研究の内容及び進捗について把握をした。各研究者の所在地がバラバラであるため、半日程度の時間しか取れなかったが、これは全て対面で行い、各自1時間程度じっくりと議論を行えた。また、対面での会合が開きにくい分、メールを介しての意見交換や、発表した論文・文章の共有も行った。

試みとして、21年夏には、オンラインで『続高僧伝』の感通篇序を読むということ数を数回行ったが、最後まで読まずに終わってしまったのは、ひとえに申請者の怠慢である。

このような共有認識を持った上で、2021年度秋には中唐文学会におけるシンポジウム「唐代仏教靈驗譚の研究」、2022年度初夏には東アジア恠異学会における小企画「中国における仏教恠異故事の流通」を行うことができた。それぞれのパネルでは、台湾の劉苑如中央研究院中国文哲研究所研究員、山田明広奈良大学准教授というコメンテーターを招き、外部からの意見も伺うことができた。

4. 研究成果

まず初年度は、四名中三名が単著を公刊した。これは、どちらかといえばそれまでの研究の成果の結晶ではあるが、初年度からの研究の知見も一部に取り入れられている。

本来は二年目、三年目で海外調査も計画していたが、コロナ禍による海外渡航規制で実行できなかったのは、惜しまれる。その代わりに一年研究期間を延長し、上記小企画や、研究会合を行うことができた。

この研究期間中に『法苑珠林』、『続高僧伝』、『金剛般若経集験記』のテキスト研究は進み、とりわけ、ほとんど存在を無視されていた『金剛般若経集験記』については、ただの日本のテキストとの内容重複ではない、『金剛般若経集験記』そのものの、日本残存テキストの相互関係のような基礎的なテキスト研究から、内容について、伝達の様相や政治・道教との関わりなどについての新たな分析までできた。

また、西明寺における『法苑珠林』『集神州三宝感通録』等の編纂事業についての、テキスト

上の関係などについては、新たな僧伝の編纂の試みや『冥祥記』の利用について解明することができ、当時の西明寺の知の拠点としての姿も一部明らかにすることができた。

当初の計画よりは、時代が初唐までに収まってしまい、盛唐さらには、中唐や晩唐のことまで手が回らなかったのは惜まれる。ただし、唐代後半についての仏教志怪研究のヒントは本研究課題を遂行する中で、多く得られた。

仏教志怪の歴史としては、六朝までの『観世音経』また靈驗に関しては、生命の危機から救われるという一辺倒な内容であったものが、『冥報記』による『法華経』、また『冥報拾遺』や『金剛般若経集驗記』による『金剛経』と経典が変化し、また、靈驗の内容もより多様化した。その背景には、中国の南北王朝が統一されたことがあり、隋侯白の『旌異記』の存在が注目された。

『法華経』に関する僧侶の死後も舌が朽ちないというような内容や、これまで安世高の蛇神の調伏として伝えられてきた宮亭廟の記事も、呪を投げかけることから、『旌異記』の佚文では、無名の僧侶による『金剛経』読誦に変化している。

このように、テキストの経典名を変化させ、バリエーションを増やしていくという手法は、上記のもののみに限らず、唐代の仏教志怪一般にみられるものであることを明らかにできた。

このような傾向は、その後も僧侶が直接筆を執った『華嚴経伝記』や『法華伝記』に繋がっていくものであり、今後も唐代仏教志怪史の叙述の完成として研究を進めたい。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計15件（うち査読付論文 7件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 6件）

1. 著者名 福田素子	4. 巻 2023
2. 論文標題 消える茶商人	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Walpurgis國學院大學外国語文化学科紀要	6. 最初と最後の頁 1-22
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 佐野誠子	4. 巻 83
2. 論文標題 王えん(王+炎)『冥祥記』佚文追加の可能性	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 汲古	6. 最初と最後の頁 7
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 佐野誠子	4. 巻 25
2. 論文標題 研究ノート：隋侯白『旌異記』にみる南北融合以降における仏教志怪の展開	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 中国古典小説研究	6. 最初と最後の頁 21-71
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 佐野誠子	4. 巻 -
2. 論文標題 「靈驗・神異・感通 中国仏教における怪異なるものへの態度」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 東アジア恠異学会編『恠異学講義』勉誠出版	6. 最初と最後の頁 223-241
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐野誠子	4. 巻 126
2. 論文標題 「『法苑珠林』感応縁所引僧伝考：《新梁高僧伝》構想の可能性」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 『集刊東洋学』	6. 最初と最後の頁 23-42
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 齋藤智寛	4. 巻 125
2. 論文標題 「釈僧崖の生涯 菩薩行としての捨身行」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『集刊東洋学』	6. 最初と最後の頁 59-78
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 北條勝貴	4. 巻 70-5
2. 論文標題 「病の照射する性別二元構造の構築／への抵抗 東アジア古代の比丘尼と多様な性」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『日本文学』	6. 最初と最後の頁 2-14
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 北條勝貴	4. 巻 -
2. 論文標題 「トンパ経典『以烏鴉叫声占ト』の歴史的位罫 インド・チベット・中国における鴉鳴占トの伝播と定着」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 山田直巳編『歌・呪術・儀礼の東アジア』新典社	6. 最初と最後の頁 202-236
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 北條勝貴	4. 巻 21
2. 論文標題 「センザンコウから覗く神話生成の一断面 神話・民族社会・共生論」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『アジア民族文化研究』	6. 最初と最後の頁 157-171
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 『法苑珠林』研究会 (北條勝貴)	4. 巻 65
2. 論文標題 『法苑珠林』感応縁訳注稿(5)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『上智史学』	6. 最初と最後の頁 45-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 齋藤智寛	4. 巻 124
2. 論文標題 『統高僧伝』感通篇・釈道英伝に見る中国六・七世紀の仏教	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『集刊東洋学』	6. 最初と最後の頁 66-85
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐野誠子	4. 巻 37-4
2. 論文標題 從為己到為他：郎餘令《冥報拾遺》中窺見唐初《金剛般若經》的信仰面貌	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『漢学研究』	6. 最初と最後の頁 83-113
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐野誠子	4. 巻 6
2. 論文標題 蕭ウ(王+禹)《金剛般若經靈驗記》研究	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 陳茂仁主編『嘉義大學主辨 第六屆中國小說戲曲研討會論文集』	6. 最初と最後の頁 73-1102
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 齋藤智寛	4. 巻 第121号
2. 論文標題 『統高僧伝』訳経篇に見える三教関係記事について	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『集刊東洋学』	6. 最初と最後の頁 22-41
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 北條勝貴	4. 巻 -
2. 論文標題 「せめぎあう環境/文化 伊豆稲取、八百比丘尼の深層へ」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 上智大学文学部史学科編『歴史家の調弦』上智大学出版・ぎょうせい	6. 最初と最後の頁 1-28
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計21件(うち招待講演 3件/うち国際学会 13件)

1. 発表者名 福田素子
2. 発表標題 「「樹よ、お前はまたあったのか」—ある明清期怪異故事の流伝—」
3. 学会等名 東アジア怪異学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 佐野誠子
2. 発表標題 初唐における冥界の仏道混淆：『金剛般若經集驗記』竇徳玄記事を手掛かりに
3. 学会等名 東アジア恠異学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 佐野誠子
2. 発表標題 仏教化した冥界における異形の鬼と幽鬼の鬼
3. 学会等名 東方学者国際会議（国際学会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 佐野誠子
2. 発表標題 江戸時代孟献忠《金剛般若經集驗記》校勘工作
3. 学会等名 第21届中国古典小説戯曲献及数字化国際研討会（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 佐野誠子
2. 発表標題 中國佛教化冥界中的鬼神之意象和圖像
3. 学会等名 「文學與宗教」系列之「宗教圖像與中國文學」會議（国際学会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 佐野誠子
2. 発表標題 The monk Qingxu 's curious biography in the work Jin ' gang bore jing jiyan ji
3. 学会等名 The third Hawai ' i International Conference on Chinese Studies (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 佐野誠子
2. 発表標題 「『旌異記』について」
3. 学会等名 桃の会第52回例会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐野誠子
2. 発表標題 「孟献忠『金剛般若経集験記』にみる経典靈験の多様化」
3. 学会等名 第32回中唐文学会大会 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 齋藤智寛
2. 発表標題 「道宣の感通と「東夏」意識の変遷」
3. 学会等名 第32回中唐文学会大会 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 齋藤智寛
2. 発表標題 「『統高僧伝』序解釈の諸問題」
3. 学会等名 JSPS 科研費「名取新宮寺一切経本を中心とした『統高僧伝』の総合的研究」第3回研究集会「僧伝読解の実際」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 齋藤智寛
2. 発表標題 「“眉鬚墮落”和“不惜眉毛”:从疾病形象看中古仏教思想的演变」
3. 学会等名 東亞漢文献与文化交流国際學術研討会(国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 福田素子
2. 発表標題 「『搜神後記』「武昌山毛人」の毛人とその後裔たち」
3. 学会等名 六朝學術学会第25回大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 福田素子
2. 発表標題 「『仏頂心陀羅尼經』漢語諸本の校勘から見えてきたこと」
3. 学会等名 第32回中唐文学会大会(国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐野誠子
2. 発表標題 「感通和靈驗：從王エン（王+炎）《冥祥記》序談起」
3. 学会等名 第一屆名古屋大學 - 屏東大學文學交流及論文發表會於オンライン（國際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 福田素子
2. 発表標題 「消える茶商人」
3. 学会等名 中唐文学会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 福田素子
2. 発表標題 「佛經中「以針刺兒 _三 （おおがい）上」的殺人故事」
3. 学会等名 「2020仏教文献与文学」國際學術研討会（招待講演）（國際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 齋藤智寛
2. 発表標題 「《統高僧伝・雜科声徳篇》所見說法師的活動：以釈真觀和《聖武天皇宸翰雜集》為中心」
3. 学会等名 「2020仏教文献与文学」國際學術研討会（招待講演）（國際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 佐野誠子
2. 発表標題 中國中古時期佛經信仰變遷和佛教靈驗記的轉變：從4世紀到8世紀
3. 学会等名 Crossing Boundaries: An International Symposium on Chinese Literature and Culture (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 齋藤智寛
2. 発表標題 『統高僧伝』感通篇・釈道英伝の諸問題
3. 学会等名 第68回東北中国学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 齋藤智寛
2. 発表標題 《統高僧伝・感通篇》閲読札記
3. 学会等名 中央研究院歴史語言研究所《統高僧伝》研読班（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 北條勝貴
2. 発表標題 「同化を誘惑する序列 土人 概念内面化をめぐる葛藤」
3. 学会等名 上智大学史学会第69回大会
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計6件

1. 著者名 日本思想史事典編集委員会（北條勝貴）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 5
3. 書名 『日本思想史事典』（仏教伝来、神仏習合の項目）	

1. 著者名 ハルオ・シラネ編（北條勝貴）	4. 発行年 2021年
2. 出版社 文学通信	5. 総ページ数 25
3. 書名 『東アジアの自然観 東アジアの環境と風俗 』	

1. 著者名 齋藤智寛	4. 発行年 2020年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 471
3. 書名 『中国禅宗史書の研究』	

1. 著者名 佐野誠子	4. 発行年 2020年
2. 出版社 名古屋大学出版会	5. 総ページ数 382
3. 書名 『怪を志す：六朝志怪の誕生と展開』	

1. 著者名 齋藤智寛、衣川賢次	4. 発行年 2019年
2. 出版社 大蔵出版	5. 総ページ数 458
3. 書名 新国訳大蔵経・中国撰述部 -7 禅宗部 六祖壇経・臨済録	

1. 著者名 福田素子	4. 発行年 2019年
2. 出版社 知泉書館	5. 総ページ数 368
3. 書名 『債鬼転生 討債鬼故事に見る中国の親と子』	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	齋藤 智寛 (SAITO TOMOHIRO) (10400201)	東北大学・文学研究科・教授 (11301)	
研究分担者	福田 素子 (FUKUDA MOTOKO) (80837287)	聖学院大学・人文学部・非常勤講師 (32412)	
研究分担者	北條 勝貴 (HOJO KATSUTAKA) (90439331)	上智大学・文学部・教授 (32621)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計1件

国際研究集会 唐代仏教靈驗譚の研究	開催年 2021年～2021年
----------------------	--------------------

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------